



2014年1月4日(土) ▶ 3月30日(日)

上越市生まれの小川未明（1882-1961）は、明治から昭和にかけて活躍した作家です。初期は小説を発表し、故郷の自然やまちの情景を幻想的に描写しながら、社会で苦しむ弱い人々に対する愛情と、社会の理不尽さに対する憤りを表現しました。その作風は『赤い蠟燭と人魚』などの児童文学へと引き継がれ、1000点以上の作品を発表し続けました。未明はその芸術性の高さから、「日本のアンデルセン」と呼ばれています。その流れは、小川未明文学賞へと受け継がれています。

本展では、上越市高田公園内にある小川未明文学館が所蔵する作品や資料の一部をご紹介します。

開催概要

主 催	上越市、にいがた文化の記憶館、新潟日報社
後 援	早稲田大学文化推進部、上越教育大学
会 期	2014年1月4日(土)～3月30日(日)
休 館 日	月曜日(ただし、1月13日は開館)、1月14日(火)
開館時間	午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
会 場	にいがた文化の記憶館
観 覧 料	一般500円(400円)、学生300円(240円) ※中学生以下無料 ※()内は団体20名様以上

本展のみどころ

1. 1949(昭和24)年に制作された紙芝居『赤い蠟燭と人魚』を公開。
2. 未明の最初の小説集『愁人』(1907(明治40)年)から、最晩年の作品とされる『ふく助人形のはなし』(1957(昭和32)年5月掲載)の直筆原稿まで、小説活動において転機となった作品を紹介。
3. 日本最初の創作童話集『おとぎばなし集 赤い船』(1910(明治43)年)や、1926(大正15)年の「童話作家宣言」前後に刊行された『小川未明選集』(1925(大正14)～1926(大正15)年)や丸善版『小川未明童話集』(1927(昭和2)年)を展示。

丸善版『小川未明童話集』には、武井武雄や初山滋など、当時の有名画家が装幀や挿画を担当しています。今見ても新しい童話の世界をぜひご覧ください。



小川未明 『赤い蠟燭と人魚』
(大正10年)



小川未明 『愁人』(明治40年)



丸善版『小川未明童話集1』
(昭和2年)

4. 未明が愛用した文具や小物などを展示。未明直筆の書もご覧いただけます。

未明が晩年を過ごした東京・高円寺のお宅からお借りした、未明の遺愛品を展示します。

5. 新潟県立図書館で小川未明の世界に触れることができます！

会期中の3月4日（火）～3月30日（日）、新潟県立図書館で「日本のアンデルセン 小川未明の世界」として未明作品などを紹介いただきます（新潟県立図書館との共同企画）。

※詳細は関連イベントをご参照ください。

日本近代童話の父 小川未明について

上越市高田出身の小説家・童話作家、1882（明治15）年、現在の
上越市幸町で旧高田藩士の家生まれ、中頸城尋常中学校（現 高
田高校）へ入学。尋常中学校卒業後、早稲田大学で恩師 坪内逍遙
から創作の指導を受けました。大学卒業以降、小説を執筆するかた
わら童話を意欲的に発表し続けました。1961（昭和36）年、79歳
で死去するまで1000点以上の作品を送り出し、「日本のアンデルセ
ン」として、現在もたくさんの読者に親しまれています。



関連イベント

■ 講演会「小川未明童話の新しい扉をひらく」

日 時：平成26年2月11日（火・祝）午後2時～午後4時

会 場：新潟日報メディアシップ6階 ナレッジルーム

ゲ ス ト：小川英晴氏（詩人）

小埜裕二氏（上越教育大学教授）

聞 き 手：神林恒道（にいがた文化の記憶館館長）

参 加 費：500円

定 員：90名（事前申込制、参加者には入館券をプレゼント）

申込締切日：2月5日（水）必着

お申込方法：往復はがき、メール、FAXのいずれかに「氏名、住所、電話番号、参加希望人数、講演会名」をご記入のうえ、当館までお送りください。

1通につき2名様までご応募いただけます。（応募多数の場合は、抽選となります。）

あ て 先：にいがた文化の記憶館

〒950-0088 新潟市中央区万代 3-1-1 新潟日報メディアシップ 5 階

TEL. 025-250-7171 FAX. 025-250-7040

E-mail. kiokukan@honey.ocn.ne.jp

■ 「日本のアンデルセン 小川未明の世界」

日 時：平成 26 年 3 月 4 日（火）～3 月 30 日（日）

会 場：新潟県立図書館 閲覧室（1 階）

内 容：小川未明の作品（小説、童話、絵本、朗読CD）ならびに

関連作品（ご子息の回想録、評論、小川未明文学賞作品集など）

（〒950-8602 新潟市中央区女池南 3-1-2 TEL:025-284-6001）

事前告知や取材、読者プレゼントについて

◆ 貴媒体にて事前告知、本展の取材をお願いいたします

本展に関する事前告知および取材をご希望の際は、お電話またはメールにて弊館までご連絡ください。本展をご紹介いただける場合に限り、本紙またはチラシ掲載画像をご使用いただけます。ご希望の場合は、事前に弊館担当までご連絡ください。それ以外でのご使用はご遠慮願います。

◆ 読者プレゼントに招待券をご利用ください

読者プレゼントとして招待券（有効期間：2014 年 1 月 4 日～3 月 30 日）を提供いたします。

1 媒体につき 5 組 10 名様を上限とし、本展をご紹介いただける場合に限りさせていただきます。

読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はできかねますので、あらかじめご了承ください。

取材などの問い合わせ先 | にいがた文化の記憶館（担当：石垣）

〒950-0088 新潟市中央区万代 3-1-1 新潟日報メディアシップ 5 階

TEL : 025-250-7171 FAX : 025-250-7040

URL : <http://www.nmmc.jp> E-mail : kiokukan@honey.ocn.ne.jp

小川未明文学館のお問い合わせ先 | 上越市 自治・市民環境部 文化振興課（担当：太田、西山）

〒943-0832 上越市本町 3-3-2（旧第四銀行高田支店内）

TEL : 025-526-6903 FAX : 025-526-6904

E-mail : bunka@city.joetsu.lg.jp